

真行草

令和2年
11月発行

第13号

編集・発行 浜松医科大学弓道部 OBOG 係 hamaikyudoobog@gmail.com

毎年1回発行

浜松医科大学弓道部 ホームページアドレス
<http://hamaikyudo.wp.xdomain.jp/>

東海医歯薬女子団体第三位!!!



令和元年 11月 16日 東海医歯薬学生弓道大会

距離

弓道部部長 三澤清先生 (平成 6 年度卒)

佐藤清昭前部長から部長を引き継いで 7 年目になりました。今年の弓道部は、歴史上はじめて、2 年続けて主将を久松君が担いました。昨年の東海医歯薬参加以外は、大きな大会もなく、新入生勧誘も例年とは違う方法で大変であったと思います。副主将以下の新幹部の皆さんは、大会、医大祭、OB・OG 総会の中止など苦勞の多い 1 年間であったと思います。行事の準備の苦勞より、行事の中止の手続きをするほうが辛かったらうと察します。

部内運営は、久松主将をはじめ幹部部員の努力で大きな問題もなく良い 1 年であったと思います。来年は、本堂一輝新主将のもととまって運営を行ってほしいと思います。2021 年は、東国体の主幹が当番になります。可美の弓道場で行いますので OB・OG の皆さんは楽しみにしてほしいと思います。そして、いよいよ 2002 年以来の西医体の主幹が 2022 年にまわってきます。そこに向けての準備も新幹部の重要な任務の一つになると思います。期待が大きい分、やりがいがあると思いますので頑張ってください。

今年は、人との距離というものを考えさせられる大変な年でありました。臨床でも、クリニックの経営でも大変な苦勞をされている OB・OG も多いと思います。「いずれ日常に戻ると信じて任務を続ける」これが、医療従事者みなさんの気持ちかと思います。学生の授業もオンラインで行われたりしており、ストレスの多い生活だと思えます。弓道というスポーツは、幸い接触プレーはありませんので、いずれ元のように大会ができるだらうと思えます。それを希望に頑張ってください。また、部員間の適度な距離というのも、大切であることを認識して生活してほしいと思います。

最後になりますが、OB・OG の皆様には、日ごろから弓道部への厚いご支援をいただき大変感謝しております。

す。今後とも、継続的なご支援をよろしく願いいたします。

OBOG 会長挨拶

OBOG 会長 丸山哲史先生 (平成 8 年度卒)

こんにちは。OB・OG 会長の丸山です。今年はオリンピックイヤーで盛り上がるはずが何とも大変な年になってしまいました。未だコロナ禍終息の道筋が見えない中、部員の皆さんも本当に苦勞されているかと思えます。ご存じの通り経済面では飲食業などでは壊滅的な状況ですし、我々医療業界もまた大きな損害を被っています。市内の急性期病院では軒並み病床稼働率の大幅な減少がみられ、個人診療所も外来患者数が激減しています。一方で感染対策のため人的、物理的なコストは跳ね上がっている状況です。ともすれば暗い話題になりがちな社会情勢ではありますが、もともと悪いところなど挙げれば切りがないものです。そこで今年になって良くなったところを考えてみました。

Q. 2020 年になっていいところは?

発熱しているのに職場や学校に来ちゃう人がほぼ消滅。

飲みにケーションなど面倒な付き合いがない。

判子いらぬ。

紙の資料もいらぬ。

報告の読み上げだけで 3 時間かかっていた浜松市医〇会の定例理事会が 1 時間に。

部屋に引きこもっていても怒られない、むしろ褒められる。

劇場で隣の人とアームレストの取り合いにならない。

レジの行列でおばさんにギューギュー押されない。

お互いマスクを着けているのでニンニク臭くても(あまり)バレない。

髭剃り忘れてもやっぱりバレない。

これ考察じゃなくて大喜利ですね www 因みに私の家では自粛期間を利用して中学生の娘と一緒に iOS アプリを作りました。BASIC 全盛期以来 30 数年ぶりのプログラミングでしたが開発環境の超絶進化ぶりに驚愕しました。SwiftUI という言語で XCode というソフトを使って組みましたが本当に理路整然としていて簡単にコードが書けます。簡素なアプリとはいえ、中学生に教えながらでも約 7 日間で完成してしまいました。正直サポートサイトや privacy policy の作成のほうが面倒だったくらいです。また日本語のアプリなのですが無料のためヨーロッパや南米からのダウンロードもあり、娘との会話で話題にもなってリリース後も楽しめています。

今はまさに数十年に一度の大変革期だと思います。今までの生活を維持しようとするだけでも大変な困難があるかとは思いますが、新しい生活様式に対応しながら皆さんが日々明るく楽しく過ごせるよう心から願っております。

宣伝!

「テナーサックス運指表」

<https://yukiponsoft.wixsite.com/fingeringchart>



上記サイトからのリンク、もしくは iPhone の APP store の検索ボックスに”テナーサックス運指表”と入力してください。ついでに広告バナーをクリックされると(私が)幸せになれます。クリックしてくださいと書くと規約違反なのでスレスレです(;^ω^)

前主将挨拶

第 31・32 代主将 久松優作(医学科 4 年)

清秋の候、OB・OG の皆様におかれましては益々ご健勝のこととお慶び申し上げます。日頃より格別のご支援を賜り、心より御礼申し上げます。

今年の 8 月末まで主将を務めさせていただきました、医学科 4 年の久松優作です。私は 2 年生の 10 月から約 2 年の間主将として活動させていただきました。2 年間という長い間主将の職務を全うすることができたのは、部員の協力だけでなく、OB・OG の皆様のご支援のおかげです。この場を借りて、感謝申し上げます。

主将を務めている間、私は弓道部の伝統を受け継ぎながら、より良い部にしていきたいと考えていました。自分には至らない点ばかりで、多々部員に迷惑をかけてしまい、部活をまとめることの難しさを感じると同時に、これまでの先輩方の偉大さを痛感しました。

今年は新型コロナウイルス流行の影響で 3~9 月の試合がすべて中止となってしまう、主な試合結果は東海医歯薬女子団体第 3 位のみとなってしまいました。私が主将を務めている間に大きな試合で芳しい成績を残すことができなかつたことは悔しく思います。後輩たちにも苦い思いをさせていただきましたが、これを糧にしますます成長してくれることと思います。私も引退した身ではありますが、部のためにできることは精一杯やろうと思っております。

次期主将は医学科 3 年の本堂一輝が務めます。このご時世で先が見えない中での活動になりますが、弓道部をより良い方向に導いてくれることと思います。OB・OG の皆様方には今後とも変わらぬご指導ご鞭撻のほど、よろしくお願い申し上げます。

末筆になりましたが、OB・OG の皆様方のご健康とご多幸を心よりお祈り申し上げ、前主将挨拶とさせていただきます。

新主将挨拶

第 33 代主将 本堂一輝(医学科 3 年)

清秋の候、OB・OG の皆様におかれましては益々ご健勝のこととお慶び申し上げます。日頃より格別のご支援を賜り、心より御礼申し上げます。

9 月より浜松医科大学弓道部の第 33 代主将を務めることとなりました、医学科 3 年の本堂一輝と申します。OB・OG の皆様が築き上げてこられた伝統ある部の主将を務めさせていただくことを光栄に思うと同時に、大変身が引き締まる思いです。

今年度も医学科 6 名と看護学科 1 名の合わせて 7 名の新たな仲間を迎え入れ、現役部員が 27 名、全体で 55 名という、ますます賑やかな部活となりました。幸いなことに、6 月から練習が再開され、ソーシャルディスタンスを保つよう工夫しながら弓道に励むことができいております。これもまた、ひとえに OB・OG の皆様のご支援のおかげです。この場を借りて、ご支援を頂いた皆様に厚く御礼申し上げます。大会が再開された日には OB・OG の皆様に良い結果を報告できますよう、日々精進してまいります。

さて、私の考える主将としての役目ですが、それは、これから先、浜松医科大学弓道部が強い部活であり続けるための土台を作っていくことであると考えます。私の考える強い部活とは試合での勝利をはじめとする共通の目標に向かって全員で進んでいくことのできる部活です。そのためには部員同士の強いつながり、一体感、そして何より全員が弓道そのものを楽しみ、好きになることができる雰囲気作りが必要です。部員一人一人が積極的に弓道部に関わりたいと思えるような環境を作っていきたいと思えます。

未熟な点も多く、ご迷惑をお掛けすることも多々あるとは存じますが、変わらぬご指導ご厚誼を賜りますようお願い申し上げます。末筆ながら、皆様のご健勝とご発展を心からお祈り申し上げ、新主将挨拶とさせていただきます。

前看護科主務挨拶

鎌田夏海(看護学科 3 年)

清秋の候、OB・OG の皆様におかれましては益々ご健勝のこととお慶び申し上げます。また、平素は格別のご高配を賜り、深く御礼申し上げます。

昨年の 9 月より、看護科主務を務めさせていただいた看護学科 3 年の鎌田夏海です。

今年は、新型コロナウイルスの感染防止のため、部活動ができない期間があり、大会も全て中止となりました。弓道の練習や部活の行事など、これまで当たり前前にできていたことができなくなり、もどかしい気持ちを抱えていた部員も多かったのではないかと思います。そのような状況の中でも、7 人もの新入生が入部してくれ、新たな雰囲気の中、また少しずつ活気が戻ってきたと感じております。改めて、部員の皆と弓を引く楽しさや喜びを感じることができました。今後、状況が改善し、大会や行事が再開できるようになることを祈るばかりです。

来年度の看護科主務は、看護学科 2 年の小峯望実が務めることとなりました。彼女は、努力家で責任感が強く、後輩にも慕われており、これからの看護学科を引っ張っていつてくれることと思えます。

今後とも変わらぬご指導、ご鞭撻の程よろしくお願い申し上げます。

末筆ながら、皆様の益々のご活躍を心よりお祈り申し上げます、前看護科主務の挨拶とさせていただきます。

新看護科主務挨拶

小峯望実(看護学科 2 年)

霜秋の候、OB・OG の皆様におかれましてはますますご健勝のこととお慶び申し上げます。また、平素は格別のご高配を賜り、この場をお借りして心より御礼申し上げます。

9 月より 1 年間、看護科主務を務めさせていただくことになりました、看護学科 2 年の小峯望実と申しま

す。

今年度は看護学科に女子1名が入部いたしました。部の中で看護学科だけをみると人数は多くはありませんが、それぞれが精進し、また楽しく充実した部活動生活を送れるよう、そして看護学科だけでなく部全体としてもより良い雰囲気での部活動になるよう日々努力していきたいと思っております。

新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、休止となっていた部活動は6月に再開できましたが、ほとんどの大会は開催できず、西看大も残念ながら中止になってしまいました。大会が開催できるようになったときに、成果を上げられるよう今は各々目標を持って切磋琢磨し、それに適した環境づくりにも励みたいと思っております。

未熟な点も多く、ご迷惑をおかけすることもあるかと存じますが、よりよい部活になるよう精一杯努力してまいります。今後ともご指導ご鞭撻の程よろしくお祈り申し上げます。

末筆ながら皆様のご健康とご多幸を心よりお祈り申し上げ、看護科主務の挨拶とさせていただきます。

OB・OGの方々からご寄稿を頂きました!

聖隷三方原病院

伊藤望先生(令和元年度卒)

深秋の候、OB・OGの皆様におかれましては益々ご健勝のこととお慶び申し上げます。

令和元年度卒、聖隷三方原病院研修医1年目の伊藤望と申します。働き始めて半年が経ち、社会人としての生活や仕事にも少しずつ慣れてきましたが、まだまだ未熟な一研修医としてどのように仕事に向き合うべきか、日々悩みながら奮闘しております。この度は寄稿の機会を頂戴し大変嬉しく思います。

卒業後も院内外で弓道部の先輩方にお世話になる機会や、実習・見学に来てくれる後輩の皆さんとお会いする機会があり、懐かしい気持ちになるとともに弓道

部の繋がりの強さを改めて感じております。また、研修医として生活する中で、学生時代に弓道部で一部員としてどうあるべきか、曲がりなりにも試行錯誤してきた経験は貴重なものであったと感じております。

今年度は新型コロナウイルスの影響により、部活行事や部活運営で例年とは異なる場面が多く、部員の皆さんも戸惑うことが多かったのではないのでしょうか。西医体・西看大をはじめとする主要な対外試合が軒並み中止となり、日々の練習成果を発揮する場面が少なくなってしまったことを大変遺憾に思います。ご時世柄、新歓も変則的だった中で、新たに7名の新入部員を迎えることができたこと、OGとして大変嬉しく思います。私も微力ながら、浜松医科大学弓道部に貢献していければと思っております。末筆ではありますが、皆様のさらなるご活躍を心よりお祈り申し上げます。

東京大学医学部附属病院

川口琴子先生(令和元年度卒)

晩秋の候、OB・OGの皆様、ならびに在学生の皆様におかれましては、益々ご健勝のこととお慶び申し上げます。令和元年度卒、東京大学医学部附属病院研修医1年目の川口琴子と申します。この度、ご依頼を受け、僭越ながら寄稿させていただきました。

4月から晴れて長年の目標であった医師となり、意気揚々と働き始めたのも束の間、コロナ禍中の救急科から研修がスタートしました。未知のウイルスと戦う現場は、常に緊張感が張り詰めていますが、上級医の先生方のサポートのもと、徐々に仕事に慣れてきたところです。患者さんへかける言葉や行う処置の一つずつに責任が伴うことを実感しております。

そんな慌ただしい毎日ですが、つい先日、院内で私の2学年先輩にあたる和田泉さん(平成27年度看護学科卒)に偶然お会いしました。和田さんとは同じ団体で弓を引いたこともあり、大変お世話になった先輩の一人です。浜松から離れても、浜松医科大学弓道部の繋がりを強く感じる事ができ、大変嬉しい気持ちになりました。これもひとえに部が設立して以降佐藤先

生初め、多くの OB・OG の方々が弓道部を支えてくださったからだと改めて感じております。私も、ささやかではありますが OB・OG の一員として浜松医科大学弓道部に貢献できればと思います。

在学生の皆さんは、今年は新歓の縮小、西医体など主要な大会の中止など、今までのように部活でイベントができないことに、きっと憤りや、悲しみを感じていることと思います。創意工夫の中で、今までのように上手く行かず壁にぶつかることもあるかと思いますが、新しいことを取り入れながら、楽しい部活を作っていけるよう応援しております。末筆ではあります。皆様のご健康とご多幸、今後の弓道部の更なる発展を心よりお祈り申し上げます。

浜松医科大学医学部附属病院

山下莉彩華様(平成 30 年度卒)

紅葉の候、浜松医科大学弓道部 OB・OG の皆様、並びに在学生の皆様におかれましては益々ご健勝のこととお慶び申し上げます。平成 30 年看護学科卒、現在浜松医科大学の手術部でオペ看として働く 2 年目の山下莉彩華です。

仕事というのは辞めたさ、辛さ 9 割でやりがい 1 割ですね。オペ室という特殊な場所もあってオペによってはとても緊張感をもって行っているものもあります。間違っていると数十万無駄にしてしまう物、落としたら換えが効かなくてオペの続行ができなくなり、患者の命に関わる物、そんな物を扱っているときはとてもストレスです。しかし、逆に難しいオペの直介(器械出し)を何事もなくスムーズに終えた後や緊急のヘルツの直介を終えた後などはやりきったという自信と自己の成長を感じられてとてもやりがいを感じます。このように仕事は楽しいことばかりではないので辞めたくなることの方が多いですが、そんなときは『千と千尋の神隠し』に登場するハクの台詞にある「嫌だとか、帰りたいとか言わせるように仕向けてくるけど、働きたいとだけ言うんだ。辛くても耐えて

機会を待つんだよ。」を「嫌だとか、辞めたいとか言わせるように仕向けてくるけど、辛くても耐えて報われるときを待つんだ。」と変換して自分に言い聞かせて日々出勤しています。何事も最初は慣れないとトライ & エラーを繰り返しますが、上手くいくように工夫や努力を続けていけば少しずつ状況は改善に向かうのでこれから社会人になる皆さんも心が折れないように程よく頑張ってくださいと思います。

今年はコロナの影響で様々な大会が中止になったり、練習も制限されたりと、弓道をみんなで楽しむという機会が少なかったと思いますがそれぞれの方法で自主練習して来年再来年の活躍に活かせるよう応援しています。

今年度も OB・OG の方々からご寄稿を賜りました。お忙しい中、誠にありがとうございました。今年度に引き続き、来年度の会報誌にもぜひご寄稿のご協力をお願い申し上げます。

近況報告 (一年間の弓道部の様子と、部員からの近況報告を掲載します。)

OB・OG の皆様には平素より多大なるご支援を賜り、厚く御礼申し上げます。今年は COVID19 の流行により試合やイベントがほとんど中止となりました。寂しい気持ちもありますが、道場に足を運べばいつもと変わらず後輩達が和気あいあいと練習に励んでいます。コロナ禍においても後輩達が OB・OG の皆様が築き上げてきた伝統を受け継ぎ、成長している姿を嬉しいような寂しいような気持ちで眺める毎日です。

鈴木蓮(医学科 6 年)



↑11月 秋のイソップ・竹山杯



↑11月 医大祭

弓道部に入部して1年半が経ちました。初めての後輩ができて、接し方や指導では未熟な点が多くありますが、これまで先輩方から受け継いできたものを繋げていきたいと考えています。また、OB・OGの方々からのご支援が無ければこうして充実した学生生活を送ることはできていないと強く感じております。私達を支えて下さるOB・OGの方々のご期待に応えられるよう日々精進してまいります。

鈴木芽依(看護学科 2 年)



↑11月 しゃちほこ杯



↑11月 東海医歯薬

弓道部に入部してから3か月ほどが経ちましたが、とても幸せな毎日を送っています。弓道部に入って本当に良かったです。次の大会がいつ行われるか分かりませんが、先輩方の指導とOB・OGの皆様の支援に日々感謝しながらこれからも弓道に励んでいきたいと思えます。

阪部千峻(医学科1年)

弓道部に入部してから1年半が経ちました。新たに7人の1年生が入部したことで、先輩方についていくだけの立場から、今度は後輩達を導いていく立場になりました。その責任の重さを自覚し、これまでOB・OGの先輩方が築き上げてくださった弓道部の良い伝統を受け継いでいき、更にはより良いものにできるように一層励んでいく所存です。

高林直也(医学科2年)

早くも3年生となり、幹部学年として後輩を引っ張っていく立場となりました。本年度のような厳しい時勢の中でも部活を継続することができたのは、OB・OGの皆様からの多大なるご支援によるものであると痛感する次第です。今後、来たる対外試合を目標とし自分だけではなく部活全体を盛り上げ、日々稽古に精進してまいります。

山口真央(医学科3年)



↑12月 グラスカップ

一時期は部活もなく、弓道部との繋がりがほとんどない時もありましたが、1年生も7名入部し、今では道場は以前と遜色ないほど活気に満ちております。引退して1年が経ちますが、久しぶりでも暖かく迎えてくれるということはかけがえのないことだと改めて感じております。このような状況だからこそ、今まで先輩方が残してくださったものをしっかりと後輩に還元できるよう、精進してまいります。

小川結衣(医学科5年)



OB・OGの皆様、平素より多大なるご支援をいただき、誠にありがとうございます。部活動の休止、対外試合の中止等思うようにいかないことも多い1年でしたが、毎日練習できることのありがたさや、弓道部の繋がりの素晴らしさを改めて実感することもできました。現役生最高学年として、浜医弓道部の素晴らしい雰囲気、伝統を引き継いでいけるよう日々精進してまいります。

杜博文(医学科3年)



↑1月 三十三間堂



↑12月 冬のうなぎ杯



←3月 合宿

今年度の部活動は予期せぬコロナウイルスにより例年のように自由に練習ができませんでした。目標となる大会もなく、さらには新入生の入部も遅れ、厳しい状況にあります。このような時だからこそ、今までOB・OGの方々、引退生方に教えていただいた知恵や伝統を再確認し、部活動全体の向上を目指して、幹部学年として精進していく所存です。

渥美佳奈(医学科3年)

OB・OGの皆様、日頃よりご支援いただきまして、心より感謝申し上げます。

弓道部に入って4年目、最後の年となりました。実習の中でも弓道、部活で学んだ事が役立つ場面が多くありました。弓道部員として過ごすのも残り僅かではありますが、弓道部員同士のつながりを大切にしていきたいと思えます。

土屋友洋(看護学科4年)





↑8月 主将杯

OB・OG の皆さま、日頃より多大なご支援をいただき誠にありがとうございます。沢山の方に支えていただき、今年の夏に引退を迎えました。新型コロナウイルスの影響で部活動が禁止されていた間、私にとって弓道部は大切な居場所であることを改めて実感いたしました。このような暖かい場を築き、継承して下さった皆さまにとっても感謝しております。お忙しいことと存じますが、どうかくれぐれもご自愛ください。

滝澤知佳(医学科4年)

今年は新型コロナウイルスの影響で弓道部への入部が遅れてしまいましたが、入部してから約3ヶ月が経ちました。自粛期間は特にすることもなく家で退屈な毎日を送っていました。しかし、弓道部に入部したことで充実した毎日を過ごせています。それも、先輩方の熱心な指導とOB・OGの皆様のご支援のおかげです。これからも日々熱心に稽古に励み、先輩方に近づいていこうと思います。どうぞよろしくお願い申し上げます。

加藤脩志(医学科1年)

春には、医学科6人、看護学科1人の先輩方がご卒業され、新たに医学科6人、看護学科1人の新入生を迎えました。

PDF ファイルについて

本年度もカラーページが多いため、より見やすいものを見ていただけるように、ホームページからダウンロードをできるようにいたしました。

是非ご覧ください。

<http://hamaikyudo.wp.xdomain.jp/>から
[アイテム]→[会報誌]にてご覧になれます。

私たちが入部してから約 3 ヶ月が経ちました。入部を決めた当初から、先輩方に丁寧に指導していただき、部活内外共に大変お世話になっています。ひとえに、今の私があるのも OB・OG の皆さまのおかげであると思います。これからも後輩にこの弓道部の良さを伝えていくために、より一層精進していきたいと思っています。

林茉里亜(看護学科 1 年)



弓道部を引退して 1 年が経ちました。現役生の頃のように毎日道場に行けなくても、たまに顔を出すだけで明るく迎えてくれる弓道部員たちの優しさを日々感じています。

このような居場所をこれからも継承していけるように、OB・OG の方々に教わったことを後輩たちに引き継いでいきたいと思っています。

日高のぞみ(医学科 5 年)



↑10 月 夏のうなぎ杯



今年は新型コロナウイルスの影響により、思うように活動できない日々が続いておりました。しかし、自分たちが出来ることを模索し努力する後輩の姿を見て、私も感化されることが多くありました。卒業後は、OB・OG の皆様ができてくださったように弓道部の発展にお役に立てればと思っております。

渡邊萌(医学科 6 年)

試合結果 (2019.10~2020.10)

東海医歯薬学生弓道大会 (2019. 11. 16~17)

【団体戦】

女子団体 A 第 3 位

【女子個人戦】

伊賀由梨香(医学科 3 年) 第 4 位



↑ 東海医歯薬学生弓道大会の様子

学年はすべて当時のものを記載しております。

昇段審査結果 (2019.10~2020.10)

本年度は昇段者なし

コロナ禍での活動

今年1月に日本でも新型コロナウイルスの感染が確認され、現在でも猛威を振り回しています。医療現場の最前線で活躍なさる皆様の苦労は察するに余りあります。深く感謝を申し上げます。

浜松医科大学弓道部も3月18日から6月14日の89日にわたる活動休止を余儀なくされました。例年であれば中部ブロックや東国体などの大会で、オフシーズンの練習の成果を発揮するべく練習に打ち込んでいる時期でありましたが、大会はすべて中止となった上、授業もオンラインでの配信となり、部員と会うことさえできない時期を過ごしました。もちろん例年4月に行われている新歓も延期となりました。



↑部活動休止後の安土の様子

学校からの規制緩和により、6月15日から感染対策を徹底した上で、部活動を再開することができました。しかし、誰も使用する事なく何週間も放置したままの道場は荒れ放題の状態だったため、すぐに練習を開始することはできず、部員総出で掃除をするところから始まりました。いざ練習を開始することができても長期間練習できずにいた影響は非常に大きく、多くの部員が筋力や技術の低下に苦しみました。

部活動では具体的な感染対策として、弓を引いている時や、澄ましの時以外は常にマスクを着用するということや、看的小屋には一人で入るということを徹底いたしました。

4月に行うことができないままであった新歓は7月に行うことができましたが、例年通りの新歓とは異なり感染対策のために様々な制限がかけられた中での新歓となりました。お店での飲食や毎年恒例の矢道飲みができず満足のいく新歓を行うことが難しい状況ではありましたが、医学科6名、看護学科1名の新生が入部してくれました。

夏季休暇期間を経て、部活動の制限が緩められていき、少しずつ日常に戻ることができました。しばらくの間いらっしやることができなかつた佐藤先生のご指導も再開していただき、10月17日には延期となっていた夏のうなぎ杯で久しぶりの部内試合を開催することができました。



←部活動休止後の安土崩しの様子



学外の大会も少しずつ開催されるようになり、10月11日には静岡県弓道連盟によって秋季弓道大会が開催され、有志の部員で参加いたしました。一年近く開催されていなかった審査も12月より再開され、新入生は2月の審査での初段取得を目標としております。また、オンラインでの弓道大会の開催も予定されており、弓道の試合においても新型コロナウイルス感染症の影響による変革を大いに感じております。当たり前のように弓道の練習をして、その成果を発揮する機会が与えられていたことが本当に恵まれた環境であったことを再確認いたしました。



例年10、11月に行われている三校戦やしちほこ杯、東海医歯薬などの大会は全て中止となってしまいましたが、そのような状況の中でも、立ちによる記録会を例年通り行うことや、例年以上に多く部内試合を開催することで、部員がモチベーションを保てるよう工夫をしております。公式戦の再開がいつになるか全く先が見えない状況ではございますが、部員一同精進すべく日々鍛錬しております。今後とも変わらぬご支援を賜りますようお願い申し上げます。

↑感染対策下での練習の様子

令和2年度 浜松医科大学 OBOG 係

→ 20の新入生（前列左から藤川佳澄、江川由愛、林茉里亜、後列左から阪部千峻、加藤脩志、原田昂汰、河野竜聖）



第 5 回 OBOG 総会のお知らせ

次回の第 5 回 OBOG 総会は、2021 年 2 月 28 日に開催の予定でしたが、新型コロナウイルス感染症の影響を考慮いたしまして、メールでのご挨拶及びご報告に代えさせていただきます。ご理解の程よろしく申し上げます。

会費・決算報告について

OB・OG の皆様に OBOG 会費納入のご協力をお願い申し上げます。詳細は、同封の別紙をご参照ください。

また、前年度の決算報告について記載した報告書も同封いたしました。多くのご支援、深く感謝いたします。決算報告につきまして、カリキュラムの変更に伴い、幹部交代の時期を早めたため、決算期が 9 月末から 8 月末に変更になっております。ご理解の程よろしく申し上げます。

今後とも変わらぬご支援を賜りますようお願い申し上げます。

● 編集後記

深秋の候、皆様におかれましては、ますますご清祥のことと心よりお喜び申し上げます。

今年は、新型コロナウイルス感染症の流行により、日常が大きく変わりした一年となりました。医療の最前線で患者さんの治療に尽力なさる医療従事者の皆様に、心から敬意を表するとともに、深く感謝を申し上げます。

浜松医科大学弓道部におきましても、約二か月間の部活動の自粛を余儀なくされ、思うように弓道に打ち込むことができず、もどかしい日々を過ごしました。幸いにも浜松では他の地域と比べて、被害が少ないこともあり、夏には少しずつ練習を再開することができました。弓を引くことができる状況が恵まれたものであることを改めて実感しております。新型コロナウイルス感染症終息後の大会に向け、感染対策を徹底しつつ、今まで以上に鍛錬する所存であります。弓道部の更なる発展に向けて今後も部員一同、精進してまいります。

本年度も引き続きご支援ご厚情を賜りますよう、謹んでお願い申し上げます。

次回の第 5 回 OBOG 総会は、新型コロナウイルス感染症の影響を考慮して、メールでの挨拶及びご報告に代えさせていただきます。昨年に引き続き OBOG 総会を開催できず、誠に遺憾ではございますが何卒よろしくお願い申し上げます。

OBOG 係 小俣尚輝 平田梨紗 大河原葉